

備後教区報

第174号

2021(令和3)年7月26日



ご縁を慶び、お念仏とともに



▲寺族婦人会若婦研修会 会場・比婆組門正寺

CONTENTS

◇緊急事態宣言による対応
法要委員会より

◇クローズアップびんご
仏青オンライン哲学カフェ

◇鴨川組僧侶研修会より

◇備龍会 みのりせんべい

◇NEWS & 活動情報

◇予報・インフォメーション



▲寺族婦人会若婦研修会 音楽ユニット 慶音～ KEION ～

新型コロナ緊急事態宣言に伴う行事対応

2021.6月現在

5月16日より、広島県を含む10都道府県に緊急事態宣言が出されました。広島県の宣言は、6月20日に解除となりましたが、まだまだ予断を許さない状況です。行事の中止や規模縮小などの影響がでております。教区教堂、及び各種団体の本年度活動状況について取り纏めました。

宗派

本山常例布教

座数の減 昼座のインターネット配信

得度習礼・教師教修

当面の間、募集定員を50名とする

教堂

常例法座(毎月11日)

6月11日は中止

教区

5月12日 寺婦役員会 中止

13日 中四国ブロック寺族青年野球大会 中止

17日 広報伝道部会 中止

18日 おつとめ教室・勤式練習会 中止

19日 仏婦役員研修会 中止

25日 少年連盟役員会 中止

28日 実践運動総会・全体会 中止

6月3日 ビハーク総会公開講座 中止

4日 門推世話人会 中止

9日 第28回真宗講座 中止

10日 寺婦総会研修会 6月28日へ延期

15日 おつとめ教室・勤式練習会 中止

16日 門徒総代会世話人会 延期(期日未定)

17日 布教団総会研修会 中止

18日 布教団夏期布教大会 中止

勤式練習会 (5、6月休止) 7月より開催

以上

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

備後教区法要委員会

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けた、第1回備後教区法要委員会を4月28日(水)に本願寺備後教堂にて開催し、教区会議員、組長、備後教堂責任役員・総代等の役職より構成された委員22名が出席した。

まず、委員長に田坂潤教区会議長(御調西組順勝寺)、副委員長に赤柴証悟組長代表(沼隈西組西明寺)、立神義昭組長副代表(芦田組明浄寺)の2名、正副委員長を含めた常任委員を教務所長より指名した。企画運営に関する今後の協議については、所掌内容ごとに、法要部会、行事・記念事業部会、団参・勸励部会の3つの部会を設置した。

法要部では、慶讃法要備後教区お待ち受け法要、また本願寺備後教堂寺号公称50年慶讃法要の期日や規模、依用作法等について検討していく。

行事・記念事業部は、お待ち受け法要に付随する教区記念行事の企画運営、また、本願寺備後教堂寺号公称50年にかかる記念事業の検討を行う。

団参・勸励部では本願寺で勤修されるこの度の法要団体参拝に関する事項等を所掌し、備後教区参拝目標人数1200名を各組間に振り分け、各参拝団の参拝期日の調整を、第1次募集開催となる10月までに行う。

新型コロナウイルス感染症は次々に発生する変異株等で未だ収束の目処は立たない状況ではあるが、これから迎えする親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けた教区全体の機運を高めていくことを目指し、協議を進めていく。

仏青オンライン哲学カフェ

教区仏教青年会連盟(麻生敏弘委員長)では、平成29年7月より、福山駅周辺のゴミ拾いを行う「美化美化部」をスタートし、月2回のペースで活動を行ってきた。しかし、昨今のコロナ禍により、令和3年2月から活動を自粛している。

当初数名でスタートした美化美化部も、時間が経つにつれ、フェイスブック投稿を見た方や参加者の友人など、毎回10名を超える参加者となっていた。参加者同士の親睦も深まり、仏青活動が盛り上がりを見せるなかでの活動自粛は、苦渋の決断であった。

「多人数で集まるのが難しい状況ではあるが、コロナ禍であってもできる活動があるのではないか？」美化美化部の活動が自粛となるなか、会員同士で話し合いが行われ、新たな活動として企画されたのが、ウェブ会議システムを活用した「オンライン哲学カフェ」である。柔軟な発想のもと、今あるつながりやを深め、新たなつながりを広げようとスタートした仏青の活動を紹介する。

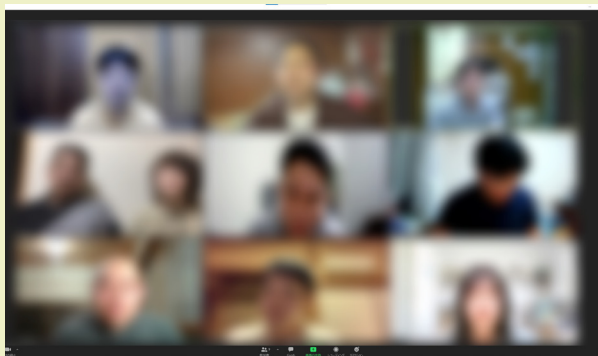
6月19日(土)、備後教区仏教青年会連盟主催にて、Web会議システムZOOMを用いたオンライン哲学カフェが開催され、一般参加者も含め11名が参加した。

哲学カフェとは、毎回異なるテーマに沿って、参加者同士で議論を行うイベントであり、第2回目となる今回は、一般参加者も募集対象として「友達って何？」というテーマで開催した。

開催参加者募集にあたっては、仏教青年会のメンバーに加え、フェイスブックにてイベントの告知をするコクチーズにて、一般参加者の募集も行った。

オンライン上での開催ということもあり、遠方(愛知県や東京都)在住の方の参加もあった。普段顔を合わせる事がなく、会話をする機会の無い方々と、テーマに沿って話し合える場を提供でき、互いの考えを共有できる時間は、このコロナ禍の中にあつて貴重な経験であった。

今回の「友達って何？」というテーマに添い、参加者それぞれの「友達とは何か」「どのような存在であり、どう捉えるのか」ということに限らず、「そもそも友達に必要なのか」という視点や、「仲間や家族、同僚などと



はどう違うのか」など、本質に迫っていくような考えにも触れることとなり、終了時間ギリギリまで議論が白熱した。

備後教区仏教青年会では、外出自粛により、普段の活動である福山駅前の清掃奉仕活動「美化美化部」も休止が続いている。コロナ禍にあつて、何とか一般の方も対象として活動をしようと仏青メンバーで話し合い、オンライン哲学カフェを行うこととなった。

オンライン哲学カフェは、「てつがく部」という名前のもと、月1回を目安として開催を予定している。「てつがく部十ヶ条」というルールを次のように定めている。

「てつがく部十ヶ条」

- ① カメラはオンにする
- ② 録音・録画は禁止です
- ③ 何を言ってもいい
- ④ 反論は積極的だ。ただし、人格は否定しない
- ⑤ 発言せず、ただ聞いているだけでもいい
- ⑥ どんどん質問しましょう
- ⑦ 難しい言葉や表現を使わないように心がける
- ⑧ 意見が変わっても大丈夫です
- ⑨ わからなくなっても大丈夫です
- ⑩ 最終的な結論を出す場ではありません

今後も、誰もが安心して参加できるように、仏教青年会のメンバーと共に話し合いを行い、定期的なオンライン哲学カフェの開催を目指していく。



鴨川組僧侶研修会

6月25日(金)、鴨川組福泉寺(児玉隆志住職)にて、鴨川組僧侶研修会が開催された。研修テーマは「デジタルを通して仏縁をつなぐ」、講師は深津組崇興寺の枝廣慶樹住職、参加対象は鴨川組内の法中、寺婦、寺族で、約20人の参加があった。

研修内容はパワーポイントを使った講義形式で、LINE、SNS、HPなどのオンラインツールをどのように寺院運営に活用しているのかの事例紹介、今日におけるスマートフォンの世代別普及率、アンケートによって分かった「シニア世代がスマートフォンを持つ理由」の共有などで、実態を伴った有意義な研修となった。

今日では60〜79歳の携帯電話保有者77%が、スマートフォンを使用している。お寺からの発信、連絡を取り合うツールとしてスマートフォンアプリを活用することは手段のひとつとして有効と言えるだろう。

しかしながら、全ての門徒への発信となると、やはり封書やハガキが必須であると考え。現代の様々なツールを使い、時間と労力を削減する事は大切なことであるが、同時に時間と労力をかける事の重要性も忘れてはならない。

みのりせんべいの価格改定と 新色パッケージ追加のお知らせ

備龍会が40年以上に渡り販売し、教区内外で親しまれてきたみのりせんべいですが、この度、価格改定を実施することとなりました。これまで、製造元の「社会福祉法人一れつ会しんふおにい」が尽力され、販売価格を維持しておりましたが、双方による話し合いの結果、昨今の消費増税や原材料高騰により、価格改定に踏み切ることとなりました。

内容といしましては、販売価格は据え置きで、一袋当たりの枚数を3枚から2枚に減らす形での価格改定となります。当初は、枚数維持での販売を考えておりましたが、想定以上に値上げ幅が大きくなり、また2枚入りのサンプルを作り様々にご意見を伺った結果、好評であったということもあり、このような価格改定となりました。どうかご理解いただきますとともに、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、それと合わせ、新色パッケージの追加も実施します。従来の伝統ある黄金色は残したまま、新色



18袋入:800円(税込)
27袋入:1200円(税込)
100袋入:2900円(税込)
3枚入り→2枚入り(価格据置)
~ご注文先~
社会福祉法人
一れつ会 しんふおにい
〒720-2125
福山市三吉町5丁目1-45
TEL:084-926-1754
FAX:084-926-1764

※価格改定、新色の発送は9月1日より開始となります。

2色(味、風味はそのまま)を追加いたします。販売方法等の詳細につきましては、後日、新たなチラシの発送をもってお知らせいたします。

備龍会

新体制



6月23日(水)に総会が開かれ、新執行部(任期2年)が決まりました。2年後には結成50周年を迎えます。引き続き備龍会活動へのご支援、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

会長

芦田組慶照寺

田坂 英尊

副会長

(広報部)

三次組西覺寺

伊川 大慶

(研修部)

世羅組正満寺

島津 恵航

(交流活動推進部)

沼隈西組福照坊

岡部 哲應

事務局長

芦田組明浄寺

立神 寿昭

会計

深津組崇興寺

枝廣 大智

新体制の詳細等は、次号にてご紹介させていただきます。

備龍会前会長 山下瑞円

News & 活動情報

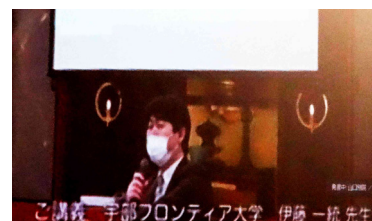
少年連盟

中・四国ブロック指導者研修会

去る6月24日(木)、令和3年度中・四国ブロック少年連盟指導者研修会が、山口教区引受けにて開催された。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、ZOOM並びにYouTubeを利用したオンライン研修会として開催され、備後教区からは10名が参加した。

研修会では、『子どもたちのいまに寄り添う』コロナ禍をこえて』という題のもと、子ども達が今コロナ禍の中で広がるオンライン授業により、環境や貧富の格差がより顕著に表れ、どのようなストレスを抱えているのかをグラフやアンケートの結果を交えて講義をされた。

マスクやソーシャルディスタンスにより、他者から隔離され、隔絶された社会を生きる今の子ども達の現状を考え、これから私たちが、より視野を広げて活動をしていく必要性が求められるのではないか。



▲山口からの中継。総勢70名以上のオンライン参加であった。

お勤め教室・勤式練習会

勤式

4月20日(火)に2021(令和3)年度お勤め教室・勤式練習会の開講式を本願寺備後教堂本堂にて行った。

本年度のお勤め教室は、昨年度末に参加者アンケートを実施し要望に沿った内容で開催し、勤式練習会では勤式集の上巻におさめられている作法を中心に参加者の方々に取り組んでいただく。

当初、年間10回開講する予定であったが、緊急事態宣言の発出に伴い5月・6月は残念ながら休講とし、7月からは通常通り開講する。



第四連区布教使研修会

布教団



▲登尾唯信研修講師(オンラインにて)

7月1日、山陰・四州・安芸・山口・備後の第四連区内各教区教務所をオンラインで結び、第四連区布教使研修会を開催した。

この研修会は、本来、昨年度備後教区引受けにて開催予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、本年度に繰り延べ開催する運びとなった。

メインテーマに『「伝える伝道」から「伝わる伝道」へ』を掲げ、

講師には、登尾唯信住職(布教団連合同朋研修講師、宮崎教区宮崎組松尾寺)、そして相馬一意勸学(東京教区茨城西組西光寺住職)をお迎えした。限られた時間ではあったが、各講師よりそれぞれ講義をいただき、参加者にとって布教研鑽の場となった。



▲相馬一意勸学

仏婦

仏婦総会・幹部研修会



▲仏婦連盟総会・幹部研修会 新執行部の挨拶

去る4月13日(火)、福山市のリードンローズ小ホールにて仏婦連盟(近藤映子委員長)総会・幹部研修会を開催した。コロナ禍による感染防止対策のため、マスク着用や検温の実施等、時間や参加者定員の規模を縮小しての開催となった。

総会では、昨年度事業・決算報告、本年度事業計画案・予算案が審議され、満場一致の承認をいただいた。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新たな常任委員の紹介も行われた。

研修では、講題「朋の輪々お念仏の喜びを伝えよう」のもと、本願寺派布教使・坂原英見住職(三次組東光坊)よりお話しいただいた。

寺婦

寺婦若婦人研修会

去る4月25日(日)、庄原市の円正寺(伊達崇史住職)を会場に寺婦若婦人研修会を開催し、40名が参加した。(表紙写真)

講師には、2019年7月結成以降、寺院や地域のイベントにてライブを重ねている浄土真宗本願寺派布教使の音楽ユニット慶音(KEION)「ギターヴォーカル枝廣慶樹さん(深津組崇興寺)、ピアノコーラス伊川大慶さん(三次組西覺寺)」をお迎えした。

法話を交えてのライブでは、オリジナルの仏教讃歌や、皆が聴きなじみのある童謡、最新のポップスなど様々な曲を披露していただき、美しい演奏歌声に参加者一同聞き入った。



▲慶音~KEION~による法話&ライブ



▲寺族婦人会総会研修会

寺婦連盟総会・研修会

6月28日(月)、緊急事態宣言発出により延期となっていた本年度の寺族婦人会連盟(島津智子委員長)総会・研修会を本願寺備後教堂にて開催し、28名が参加した。

総会では、昨年度事業並びに決算報告、本年度事業計画案、予算案について事務局より説明の後、満場一致の承認をいただいた。

研修会は、講師に深津組光行寺・苅屋光子前坊主をお招きし、日常生活や人間関係の中で起こる悩みや迷いと、どのように向き合えばよいか、また坊主としてのどのような心構えで門信徒と接するか、ご自身の経験をもとにお話しいただいた。

教区月報

4月(April)

- 4日 仏壯総会研修会
- 8日 第4連区布教団連絡協議会
- 11日 教堂常例法座
- 13日 仏婦総会・幹部研修会
- 15日 実践運動事業検討委員会
- 20日 おつとめ教室・勤式練習会
- 中四国ブロック少年連盟
- 連絡協議会

布教団団長・副団長会議

- 21日 ビハーラ備後役員会
- 門推「蓮の実」編集会議

- 25日 寺婦若婦人研修会
- 26日 保育連盟全体協議会
- 27日 布教団役員会
- 28日 法要委員会

5月(May)

- 6日 門推蓮の実編集会議
- 7日 平和のつどい開催委員会
- 27日 教区報専門委員会(オンライン)

6月(June)

- 2日 法務法務専門委員会(オンライン)
- 7日 法要部会
- 10日 教区・教堂監査
- 15日 教堂責役総代会
- 21日 平和のつどい実行委員会

備後教区平和の集いのご案内

日時 2021(令和3)年
10月21日(月)
13:00~16:40

会場 福山芸術文化ホール リーデンローズ

内容 ・全戦争犠牲者追悼法要
・映画上映 『ドキュメンタリー
沖縄戦 ~知られざる
悲しみの記憶~』
・講演 眞二氏

講師 浄土真宗本願寺派総合研究所
香川 眞二氏

参加費 1,000円 ※当日会場受付
申込 寺院より各組組長へ
※門信徒は所属寺へ申込下さい

令和3年度 公聴会のご案内

日時 2021(令和3)年
9月6日(月)
13:30~16:30

会場 本願寺備後教室

内容 詳細は宗報7月号に掲載
※当日は宗派と富山・東海・大阪・備後の
各教区教務所を繋いでのオンライン合同
開催となります。

今後の予定 (2021年8~9月)

8月(August)

- 11日 教堂常例法座
- 24日 門徒総代会世話人会
- 25日 第29回真宗講座
- 27日 同朋講座
- 30日 平和のつどい実行委員会
(福山リーデンローズ)

9月(September)

- 3日 全国保護師研修会
- 5日 布教団青年布教大会
(三次組 西覺寺)
- 6日 公聴会
- 9日 ビハーラ備後 研修協議会
- 11日 教堂常例法座
- 21日 おつとめ教室・勤式練習会

仏壮連盟

基礎から共に

去る4月4日(日)、令和3年度仏教壮年会連盟(甲田正規理事長)総会・研修会が開催された。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、午後半日の開催とし、単位会会長など28名が出席した。

総会では、昨年度の事業決算報告及び今年度の事業計画予算が承認された。昨年予定されていた全国大会が中止となった経緯や今後の対応についても報告があった。

研修では、『はじめて学ぶ仏教―基礎からともに聞いていこう―』という題で、坂原英見先生(三次組 東光坊 住職)が、仏教の成り立ちや、ご自身の経験を交えての浄土真宗のみ教えについて研修を行った。



常例法座 (毎月11日)

出講者(敬称略)

8月

「南無阿弥陀仏のすがたを
こころうるなり」

福山市 崇興寺 枝廣大智

9月

「罪のあるなしの沙汰をせんよりは、
信心を取りたるか取らざる
かの沙汰をいくたびもいくたび
も(吟味する方が)よし」

三次市 福泉坊 水戸浩文

10月

「身命をかへりみずして」

三原市 梅林寺 高橋格昭

24日 第4連区少年連盟指導者

29日 研修会(オンライン)

第4連区ビハーラ連絡協議会

(オンライン)

7月(July)

1日 第4連区布教使研修会

5日 同朋社会部会

6日 おつとめ教室勤式練習会

9日 賦課基準等調整常任委員会

11日 教堂常例法座

14日 ビハーラ役員会

19日 組長会

20日 仏婦会員研修会

24日 ビハーラやすらぎ講座

25日 仏壮夏期研修会
(三次まちづくりセンター)

得度許可

おめでとうございます
「敬称略」

三次組 專正寺

深水大雅(釋大雅)

(令和3年3月15日付)

教師授与

おめでとうございます
「敬称略」

奥組 増福寺

藤本沙織(釋泉珠)

三谿組 照善坊

福岡 願(釋願音)

(令和3年3月30日付)

敬弔

お悔やみ申し
上げます
「敬称略」

芦田組 光圓寺 前坊守

小倉 洋子 (4月10日寂)

御調束組 大通寺 前坊守

大淵 慧子 (4月12日寂)

御調束組 照源寺 前住職

久本 昭道 (5月15日寂)

芦田組 西福寺 前坊守

山名 千香子 (6月25日寂)

香典返礼

ありがとうございます
「敬称略」

芦田組 西福寺 様

寄贈

ありがとうございます
「敬称略」

このたび、御調束組照源寺様より、白木の供弔七対を寄贈いただきました。

貸出で希望の場合は、教務所までお問い合わせください。



※教室夏期休暇

8月12日(木)～16日(月)

死亡届は組長さんを通して
本山にお届けください。

編集後記

先日の寺子屋塾でのコマ(d(パッド)、貰えたよー」と嬉しそう。▲昨今、小学生に、無償で computer pad が配布された

らしい。「IT革命」と言われて久しいのだが、私自身は相変わらずのITオンチぶり。常々、生徒たちには、「先ずは、紙の辞書を使いなよ。電子辞書使つて、賢くなつたヤツを見たことないぞ。(事実)」と、指導していたのに…。今や、Padに全ての語学辞書がインストール済みなので、最早学校側も従来の紙の辞書の購入を勧めないらしい。エライ時代になつたもんだ(汗)。▲そして、ここへ来て長引くコロナ禍。リモートワークや、オンライン会議と、政府も国をあげて、急激にIT化を推し進める。確かに、日本は海外諸国に比べ、IT化が遅れているとも聞く。(なんたつて、依然ハコ文化なのだ。)反面、欧米では、IT依存症、IT関連犯罪の多発等が、深刻な社会問題となり、その対応に莫大な税金を投入して居る現実もある。▲他方、お寺の住職方の中には、私のように「デジタル、何するものぞ!」的な方々も少なからず、いらつしやるのだそう。寧ろ、頼もしいくらいだ(笑)。しかし昨今、備後仏教青年会活動で、道俗の若者達に接する

と、いろいろと考えを改めさせられた。▲ITに詳しい或る後輩の言葉。「TVが、自動車が…普及し始めた時も、きっとそうだったんでしょ。賛否両論あつた筈です。しかし、新しい技術はいつしか、我々の生活に溶け込んで、なくてはならないものになつた。そして、社会が技術と共に成熟して行つた。同じ事が今、繰り返されているんです。」本当にその通りだと思う。つまり我々は、その流れの只中にあるのだ。若い世代に触発されて、私もまた、この時代に真つ直ぐに向き合いたいと思う。▲しかし、我ら「バブル期」を、色濃く知る世代。おいそれと、時代に迎合する危うさを知っている。かつての戦争を知る世代も、その思いはきっとそれ以上に違くない。人間とは、自身が思うほど賢い存在ではないのかも知れない。その人間が創つた「IT」も、また然り? ▲TVの時代は去つた。自動車の在り方も、激変する。「時代のうねり」の中に居てなお、変わらぬ「南無阿弥陀仏」を、仰ぎ見る日々を送らせていただこうと思う。

(K・M)